

向井 敏憲 議員



一括質問方式

- ① 市長の政治姿勢と3期目に向けた決意
- ② 平成29年度予算編成方針と重点施策
- ③ 福祉行政
- ④ 観光・まちづくり
- ⑤ 交通基盤の整備
- ⑥ えひめ国体

市長の政治姿勢と3期目に向けた決意について

問

清水市長は、今日まで2期7年半にわたり市民の安心・安全なまちづくり、大洲市の活力向上のため、市長の重責を務めてこられた。

そこで、3期目に対する所信について聞かせていただき、清水市長の情熱、信念をぜひ市民の皆様発信していただきたいと思う。清水市長の強い決意を伺う。

答

大洲市の将来像を見据え、平成29年度当初予算を編成していく中で、今後大きな変化が予想される世界の情勢や日本のあり方、現在進められている肱川の治水対策の進捗状況や地方創生への取り組み状況、そしてこれまで市民の皆様方から賜りました激励のお言葉など、さまざまな事情を熟慮してきました。その上で、私は議員各位、さらには多くの市民の皆様からの御支援をいただきますなら、これから先も責任を持つてその任に当たりたいとの思いに至ったものです。そして、市民の皆様とともに、きらめく大洲を将来に引き継いでいくために、様々な施策を推進していくことが私に課せられた課題、責務であると考えています。大洲の子供たちが自分の夢を実現できるように、また将来に夢を持ち、ふるさとに誇りを持って定住していただけるよう、活力ある大洲市を目指し、

果敢に取り組んでいきたいと考えています。

平成29年度予算編成方針と重点施策について

問

本市の平成29年度当初予算はどのような方針のもと、どのようなことに重点を置かれて編成されたのか。また、大洲市民が幸せを実感できるためにどのような施策や構想をお持ちなのか。そしてその施策実現のために、今後どのようにに市政を進めるつもりなのか。

答

本市においては、平成28年3月に大洲市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、重点的な事業実施に取り組んでいるところであり、総合戦略の基本目標として「ブランド・魅力を生かしたしごと・ひとの流れづくり」、「次世代を担う人を産み育てるまちづくり」、「安心して暮らし続けることができるまちづくり」の3つの目標を設定し、平成31年度までの5年の期間で取り組むこととしています。平成29年度当初予算においては、この基本目標の実現に重

点を置きながら予算編成を行ったところです。

福祉行政について

問

ある記事を拝見すると、昨年の老人福祉介護事業の倒産件数が全国で108件となり、最多件数を更新したとあった。業種別では、訪問介護事業が最多の48件とのことだが、深刻な人手不足からサービス提供が困難になり、経営に行き詰まったケースも見られたとの記載もあった。本市においては、人手不足などの問題は生じていないのか。

答

現在のところ、市内では人手不足からサービス提供が困難になった事例、また経営が行き詰まったといった事業所はありませんが、今後利用者及び家族の皆様にとって安全で安心な運営ができるよう、引き続き適切な指導を行っていききたいと考えています。

